

# 世界史B 近現代 20 東南アジアの植民地化(1)

## 1 東南アジア大陸部

### ①ビルマ

トウングー朝(1531~1752)---首都トウングー。18世紀ペグー=ビルマ南部=のモン人❖aが侵攻し滅亡。

内陸のビルマ人が南下しペグーを占領して再統一⇒( )1朝(1752~1885)

┌王アラウンパヤー=菩薩=(位1752~60)。 1767年タイの( )2王朝を滅ぼす。

└西のインド領( )3、マニプールに侵攻し、支配。

❖a---タイ、ビルマの民族。B.C.1500年頃移動。B.C.200年頃のアショーカ王の遣使以来上座部仏教信仰。

3回にわたる[ ]4-ビルマ戦争(1824~26, 52~53, 85~86)

→コンバウン朝滅亡 →全ビルマをインド帝国に編入

イラワディー川下流域の( )5にイギリスの政庁

### ②ヴェトナム

17世紀 黎朝(1428~1789)=律令制・儒教導入中国風国家=衰退→鄭氏=北部と阮氏=中部(広南)の対立

1771年 ( )6=タイソン=の乱(西山党の農民反乱)。 1777年広南阮氏を滅ぼす。

1802年 ( )7朝成立 仏人宣教師ピニョーとタイ軍の支援 阮福暎(位1802~1820)=阮氏の生き残り=による

⇒清朝から( )8国王に(1804年) ⇒清朝に朝貢 儒教を重んじる 首都( )9

1825年 キリスト教の布教禁止 信徒や宣教師に対する迫害

1858年 フランス軍⇒( )10に出兵 サイゴン占領(ナポレオン3世 宣教師の処刑を口実に)

1862年 ( )11条約 キリスト教布教の自由・ヴェトナム南部コーチシナ東部3省の割譲

1863年 ( )12王国も保護国化---ヴェトナムとタイに侵略され、フランスに支援を求めた

アンナン(安南)=ヴェトナム北中部=や( )13=ハノイなどヴェトナム北部=にも軍事的圧力

1883年 ( )14条約 (アルマン条約) でヴェトナムを保護国化

ヴェトナムの( )15権=朝貢と冊封の関係=を主張する清朝⇒ヴェトナムに出兵

1884年 ( )16戦争(1884~85)

陸上では劉永福❖b(1837~1917)ひきいる( )17軍❖cと清軍がはげしく抵抗

福建海軍がフランス海軍に壊滅的な打撃を受けて敗北

1885年 ( )18条約❖d ヴェトナムに対するフランスの保護権を承認

1887年 ヴェトナムにカンボジアを統合 ( )19のルアンプラバーン王国(1707~1949)を保護国化。

⇒フランス領( )20(1887~1945)形成 ハノイに総督府

❖b---清朝の軍人。太平天国に参加。のち追われてヴェトナムの阮朝に帰順し黒旗軍を編成して仏軍を駆逐した。[

]21戦争後、台湾民主国で反日抵抗運動を指導した。

❖c---19世紀末雲南省など清朝の地方で成立した武装組織。黒地に7つの星を描いた軍旗。

❖d---清朝のヴェトナムに対する宗主権を否定。中国南部に対するフランスの優先権も承認。

1899年 ラオスを連邦に編入

③タイ=( )22=1939年国名をタイに変更

┌東南アジアで植民地化を免れた唯一の国 伝統的に上座部仏教国

└ヴェトナムから西進するフランスとビルマから東進するイギリスと緩衝地域

1782年 ( )23朝=王宮所在地=(バンコク朝)❖e成立⇒熱心な近代的改革と外交努力

1855年 ラーマ4世(位1851~68) イギリスとボーリング条約❖f=友好通商条約 (前年清への朝貢を止める)

❖e---チャックリー=ラーマ1世(位1782~1809)がトンブリー朝を倒して建国。現在は9代目ラーマ[ ]24世(1946~)。

❖f---低関税率と治外法権。翌年仏、米とも→欧米列強への経済的従属を強める。ボーリングは香港総督(1854~59)。

( )25世=チュラロンコン大王(位1868~1910)⇒「( )26改革」

→学校教育、官僚制度の整備、議会制度、( )27=タート=解放などを推進。

中心を流れる( )28(メナム)川、メコン川のデルタ地域→輸出向け稲作が発展。

## 2 東南アジア島嶼部

### ①インドネシア

ジャワ島 (15世紀末ドゥマク王国以後イスラム化)

17世紀から( )29=オランダ名=中心にオランダ東インド会社❖gが開発と中継貿易

18世紀なかごろには( )30王国❖h(1582~1755)を屈服させ、

同世紀末にはジャワ島全域がオランダの東インド会社領化。

❖g---1602年に設立されたが、経営難から1798年に活動を停止し、1800年に消滅した。

❖h---ジャワ島中部のイスラム王国。4つの王家に分裂しオランダの「保護領」となる。

1824年 ( )31協定⇒マレー語圏を南北に分断=マレーシア・インドネシア

1830年 ( )32戦争(1825~)---ジャワのマタラム王家などイスラム諸侯の反乱を鎮圧。

オランダ東インド政庁(総督ファン・デン・ボス)の強制栽培制度(1830~70)

⇒コーヒー・サトウキビ・タバコ・藍など⇒( )33作を犠牲に。

1904年 1873年以来抵抗を続けたスマトラ島の( )34王国❖i(16世紀~1904)も滅亡

⇒オランダ領東インド形成

❖i---スマトラ島のアチェにあったイスラム王国。マラッカ海峡交易で栄える。



チャオプラヤー川



大モスク(アチェ)



劉永福



ラーマ5世



アユタヤ遺跡



バンコク

- ・阮 ・稲 ・越南 ・天津 ・清仏 ・西山 ・宗主 ・奴隸 ・黒旗 ・関税 ・フ工 ・ラーマ
- ・シヤム ・アチェ ・メコン ・ジャワ(2) ・ラオス ・アッサム ・アユタヤ ・トンキン ・サイゴン
- ・マタラム ・カンボジア ・コンバウン ・ラングーン ・コーチシナ ・チャックリー ・パタヴィア
- ・インドシナ ・チャオプラヤー ・ラタナコーシン